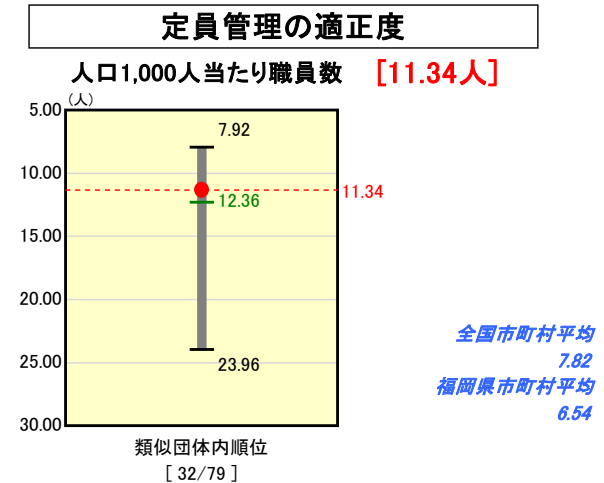
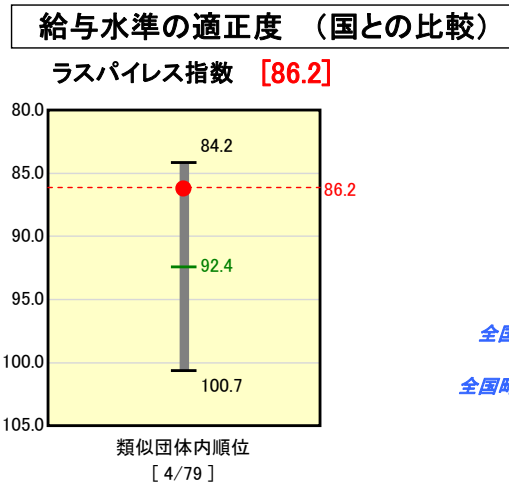
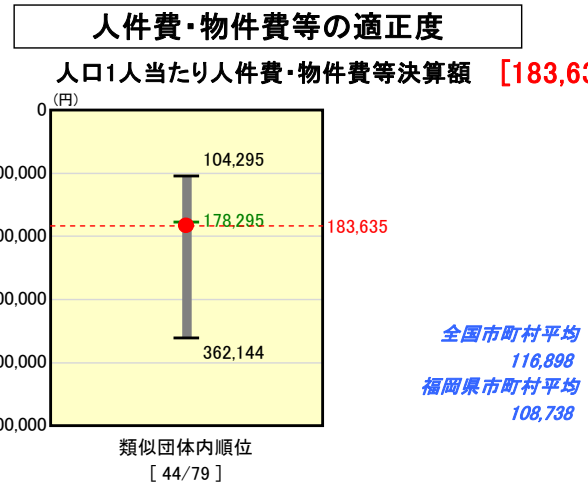
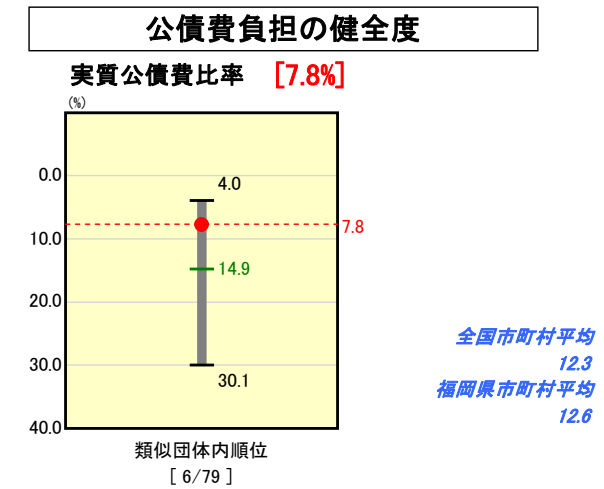
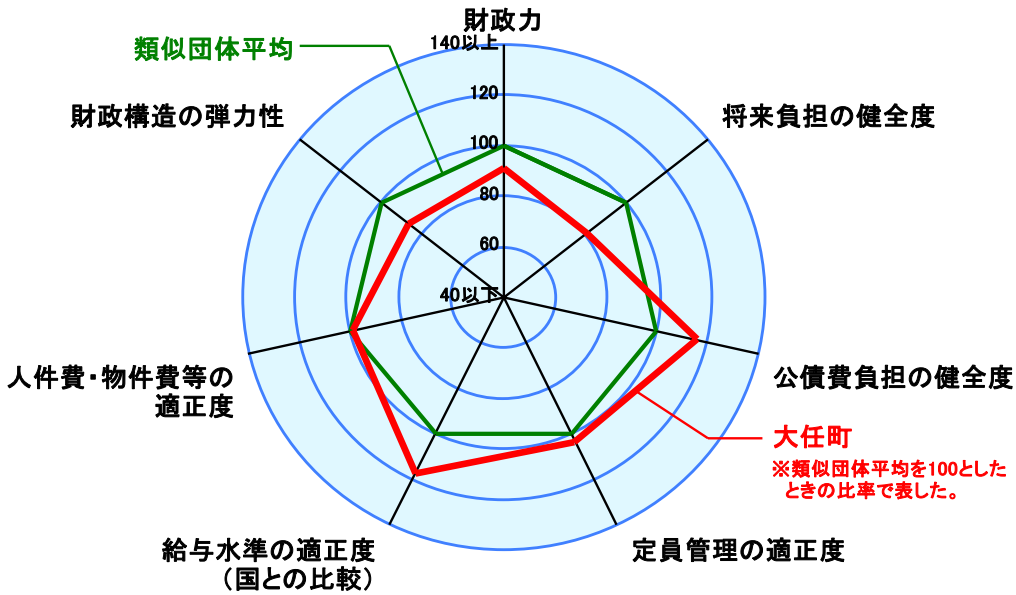
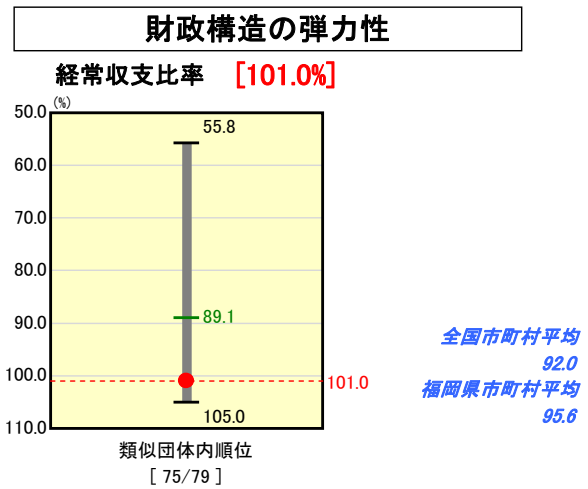
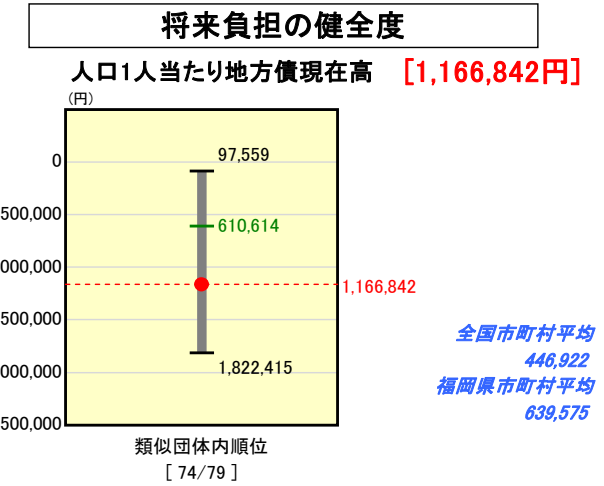
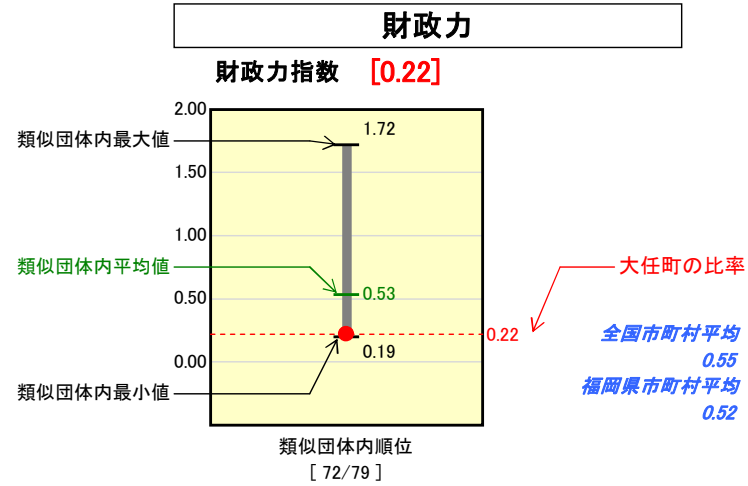


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福岡県 大任町

人口	5,908	人(H20.3.31現在)
面積	14.24	km ²
歳入総額	4,697,014	千円
歳出総額	4,490,452	千円
実質収支	182,388	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 ※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
人口の減少及び全国平均を上回る65歳以上高齢化率(平成19年度末26.9%)に加え、町内には零細な農業以外中心となる産業がないため、財政基盤が弱く、類似団体よりかなり低くなっている。歳出の徹底的な見直しを図るとともに、活力あるまちづくりを展開しつつ財政の健全化を図る。

○経常収支比率
扶助費・公債費の増加及び地方交付税等の経常一般財源等収入の減により経常収支比率は101.1%と類似団体を上回っている。町長を中心として幹部職員による訪問など滞納対策強化に努め、税収の増加を目指し、地方債の計画的な借入による公債費の平準化など歳出の見直しを行い、経常経費の削減に努める。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体平均と同程度であるが、職員数を平成18年度と比較して、平成21年度までに7名削減するなど経費の削減に努める。

○人口1人当たり地方債現在高
近年大規模事業が続き、類似団体平均を人口1人当たり約40万円多くなっている。今後の事業実施にあたって新規に発行する地方債の抑制を行い財政の健全化に努める。また、繰上げ償還等により地方債現在高の減少を図る。

○実質公債費比率
人口1人当たりの地方債現在高は類似団体を上回っているが、家賃収入や住宅新築資金貸付金の徴収金等の特定財源の確保及び交付税算入率の高い地方債を活用しているため、実質公債費比率は類似団体平均の約半分の7.8%と低い水準にある。今後も交付税措置の有利な地方債を選択してまちづくりを行い現状の比率の維持を図っていく。

○ラスパイルズ指数
全国町村平均を大きく下回り類似団体平均と比較しても6.2ポイント低い最低水準にあるが、住民サービスの向上はもとより、職員一人ひとりの資質の向上を図りながら今後も現状の水準を維持する。

○定員管理の適正度
定員管理の適正度は類似団体に比べ、人口1,000人当たり約1人職員数が少なく、町全体で約6人以上少ない計算となる。今後平成18年度と比較して平成21年度までに7名の職員の削減などを実施することとしている。